

健康と光線

忘れてはならない 光線の大恩

昭和7年からサナモアのブランドで光線療法の啓蒙に尽くした父、宇都宮義真が、本紙の前身の「光と熱」に昭和13年に掲載した「大恩を信じて行え」の記事を昭和55年1月1日発行の本紙に転載して25年が過ぎました。父は記事の中で「大恩は遂に謝せず」の例に漏れず光線の真価を味わう人の少ないのは誠に遺憾であります、と書いています。生物は光線の大恩がなければ死滅するしかないのに、小さな恩には気付いても、光線の大恩は容易に受けられるため却って気付かないのです。しかし光線の大恩に気付かないのはまだしも、最近は光線の中の紫外線

叩きが跳梁跋扈し、それを信じた人々の健康は確実に失われていきます。「大恩は忘れる」とも言いますが、光線の大恩は忘れてはならないのです。

日光浴は健康に役立つ

父の後を継いで四半世紀が過ぎました。この

間、紫外線はお肌の大敵という誤った宣伝がマスコミを席巻するようになる十数年前まで、誰もが日光浴は健康に役立つと信じていました。古代から人々が日光浴は健康に役立つと信じたのは、霊感的、体験的に受け継がれてきたからです。それが二十世紀初頭のくる病の治療に関

する研究から、光線の紫外線がビタミンDを生成することが科学的に明らかになり確信になったのです。

光線の大恩を信じて行え

— 信念は治療効果を左右する —

サナモア光線協会 サナモア中央診療所
医学博士 宇都宮 光明

しかるに十数年前に紫外線防護商品が市場に登場するのと軌を一にして、皮膚科医や美容整形医がマスコミに登場しては、日焼けのような生理現象まで皮膚の老化を促すと脅すようになりました。そこでは日焼けを起す紫外線がビタミンDを造り、生理機能を調節して自然治癒力

を向上させる人知を超えた自然の決まりごととは無視されています。皮膚の老化といういわば加齢現象に過ぎない小事にとらわれて日焼けを避け、光線の大恩という大事を見失えば、この先骨はボロボロになり、生活習慣病を抱え込む危険性が増すことに気付いて下さい。

大気汚染が紫外線を遮ってクル病の多発を招いてから二百五十年を経て、紫外線のくる病予防効果が科学的に明らかにされたのですが、科学とは無関係にクル病を治していたように、光線の大恩は理論を超えて存在すると信じて損はありません。なお紫外線の作用で間接的に食品から受けている恩恵を付け加えれば、植物を病害虫から守る抵抗物質を作り、サプリメントとしても使われる栄養素を豊富に含む食品を作るのに欠かせないのです。

信じて行えば 治癒力が増す

「病は気から」の言い伝えは、体験から会得したものです。この気、すなわち心の持ち方と治癒力の関係について、父は「大恩を信じて行え」の中で、「ある医者が薬袋に、信じなければ効果がありません」と書いた話を引用し、誠に心理をうがっていますと書き残しましたが、信じていることが治癒力を向上させることを見抜いていたのです。

最近の研究から信じていることが治癒力の関係をサナモア光線療法に置き換えて述べれば、サナモア光線療法の大恩を信じて前向きな姿勢で積極的に病魔と闘おうと取り組む人の治癒力は、現代医学を唯一無二のものと盲目的に依存している人の治癒力より高まることが明らかにされています。改めて「大恩を信じて行え」の言葉の重さを噛み締めています。自然の摂理を無視した木を見て森を見ずの言動に惑わされて碌なことありません。

発行所
〒153-0063
東京都目黒区目黒 4-6-18
サナモア光線協会
年4回発行
会費年500円
電話 東京 (03)
3793-5281
3712-5322

一病息災 一病息災

胃の病気

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

病気の解説

多くの方は、みぞおちを中心とした上腹部に痛みやむかつき等の症状を感じ、バリウム造影検査や内視鏡検査を受けたご経験をお持ちのことと思います。胃潰瘍、急性胃炎、慢性胃炎など、様々な原因でそのような症状は引き起こされますが、今回は胃の病気に関係した話題につ

症 例：61歳、女性。

主 訴：上腹部の不快感、腹部の張り感。

起 始・経 過：高血圧などで通院している。以前から、上記の主訴を認めていたが、知人よりサナモア光線療法を紹介され、健康維持を兼ねた目的で来院された。

治 療：側臥位にて45分、4灯照射。

腹部(BD)、背部(BD)、膝(AB)、足裏(AB)。

経 過：初回の治療終了後より、身体全体が軽くなるように感じる。数回の治療を終えた頃、徐々に上腹部に認めた不快感は軽減し、食欲も増進してきた。さらに、以前からやや便秘気味であったのが、排便もきちんと認めるようになり、腹部の張りも感じなくなる。

いて触れたいと思います。

胃は食道と十二指腸の間に位置し、約1.5リットルの容積を有する袋状の消化器官で、食べた物は胃液と混ぜ合わされて攪拌され、十二指腸へ送り出されます。胃液の主な成分は、三つに分けられますが、なかでも塩酸は皮膚をただれさせる程の強い酸で、食物を殺菌し、腐敗、発酵するのを防ぎます。普通の生

物は生きることが不可能な強酸のなかを生きるヘリコバクター・ピロリ菌は、一九八二年に培養に成功して広く知られるようになりました。最近では、このピロリ菌がアンモニアを産生する際に分泌する酵素ウレアーゼが、胃粘膜を保護する粘液をはがして胃炎や胃潰瘍、さらには、胃癌を発生させる原因となることが示唆されています。

また、欧米を中心として、NUD(Non-Ulcer Dyspepsia)という新しい胃の病気の概念が、数年前から提唱されています。

NUDは、胃が痛くなったり、もたれたり、張った感じなどの不定愁訴が続く、内視鏡検査を施行しても潰瘍などを認めないときにつけられます。つまり、潰瘍がない消化不良状態という意味で、胃の運動機能が低下したためにおこる自覚症状とも考えられるため、機能性消化不良と呼ばれることもあります。ストレスなどの心因反応が原因の一つと考えられていますが、日本

病気と光線療法

人のほとんどが診断される慢性胃炎をNUDとする医師もいます。

光線療法と消化管機能の間には密接な関係があります。光線の照射により、皮内で産生されたヒスタミン類似物質は、消化管に働きかけて機能を活性化します。また、同時に皮内で産生されるビタミンDは、胃のガストリン分泌細胞に働きかけて、胃液の分泌を増して消化酵素の活性を高めるとともに、胃腸の蠕動運動を亢進させます。これらの効果により、光線照射後の空腹感は説明がつくわけですが、特に胃の動きが低下した胃アトニーに対しては著効を示し、先に述べたNUDにおいても、サナモアの効果は十分期待されます。さらに、日常生活においては、規則正しい生活を心がけて、胃腸の働きに係る自律神経の働きを正常に保つよう心がけることも忘れないで下さい。

サ/ナ/モ/ア/便/り

vol.27

宇都宮 正範

第十一期

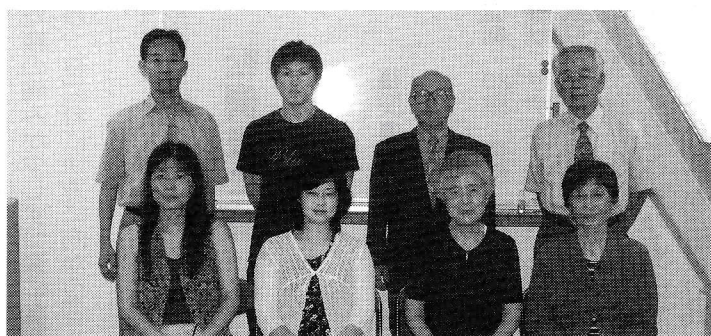
サナモア光線治療師
養成講座を東京にて開講

第十一期サナモア光線治療師養成講座を、六名の参加者を迎えて、七月に東京において開講しました。講義を通して、少しでも多くのことを吸収しようとする皆様の姿勢に圧倒されつつ

も、私自身、初心に帰って講義を行うことができました。今回、治療師認定を受けた方々をご紹介します(写真)。

治療師認定者

加藤 清一(栃木県)、河野 恵子(兵庫県)、近藤 翼(宮城県)、小暮 澄江(横浜市)、寶積 紀美子(横浜市)、山本 鳴見(横浜市)。

第二十三回
「光と熱研究会」
のお知らせ

医療に関連した話題の講演や治験例の報告を中心とした研究会を開催していますので、一般のご愛用者の方も是非ご参加下さい。なお参加は無料です。
日時：十月二十一日(土)
午後二時三〇分

場所：サナモア光線治療院
三階会議室

治療院&
治療師紹介

今回はサナモア光線治療師養成講座に出席し、新しく治療師資格を取得された方のご感想をご紹介します。

寶積 紀美子(横浜市)

家には約二十年前よりサナモア光線治療器がありました。私は十五年程前に肺癌の手術をするまで、あまり必要としていませんでした。退院後は薬をも

◆ 募 集 ◆

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、サナモア光線療法の普及にご協力頂ける方、治療院の開業を検討なさりたい方は、お問い合わせください

〒153-0063
東京都目黒区目黒1-23-11
TEL (03) 5759-3710
FAX (03) 5759-3720

つかむ思いでサナモアを始めましたが、お陰様で転移することもなく、現在まで元気に生活させて頂いております。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。それ以来、多くの方にサナモアを勧めてきたのですが(血縁の者は皆使用しています)、私の説明の仕方が悪いのか、納得してもらうことができず、いつも悔しい思いをしておりました。そこで私自身が勉強すれば、少しは上手に説明ができるのではないかと思います、今回養成講座に参加させて頂きました。

講義のなかで、改めて光線の性状、光線療法の基本術式、身体働きなど、治療器、カーボンのことから身体の仕組みまでを総括的に学ぶことができました。また一緒に参加された方々とも、和気藹々と打ち解けることができ、これまで知らなかった事を知る喜びで、三日間はあっという間に過ぎてしまいました。今は、少しずつ自信をつけて、周りの人々に話し始めております。サナモアを仲介とし友人を増やして、老後の楽しみにして参りたく思います。

ありがとございました。

治験例報告

変形性腰椎症による頑固な

腰痛がサナモアで軽快

神戸市 ウエノ光線療研

症例 62歳 男性

症状 以前患った腰痛が再発したため近医整形外科を受診。様々な検査を受けた結果、年齢による変形性腰椎症と診断され投薬を受け一週間様子を見たが、一向に改善せず、胃腸の調子も悪くなってきた。近医を再診したが、十分な説明もなく、胃薬のみを処方されたため、医師を変えようと考えている時に、長年サナモアを愛用している従兄から、だまされたと思ってサナモアを試してみよう勧められて来所した。

療法経過 治療は、最初に患部である腰全体をBBカーボンで20分照射後、集光器を使用して同じ部位を20分照射。次にABカーボンに変更し、背部、腹部、膝、足裏をそれぞれ10分ずつ照射。その後、再度集光器を使い、

上野 健太郎氏報告

BDカーボンで、上腹部(胃のあたり)を20分照射した。自宅での光線治療を開始してから一週間経過した頃、つらかった腰の痛みが少しずつ楽になり、日に日に快方に向かうこ

治験例報告

転倒後に続いていた頭痛と

不眠症がサナモアで改善

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子(旧姓 前田)氏報告

症例 80歳 男性

症状 サナモア愛用者。最近、眠りが浅く三時間程度しか熟睡できず、食欲も低下し、体調を崩しがちなので、どのように治療を行ったらよいかと電話で質

とが励みとなって、毎日治療を続けていると報告を受けた。三か月が経過した時点では、朝起床時にすんなりとベッドから起き上がれるようになり、夕方疲れた際に認めた腰痛もまったく消失し、薬の副作用による胃腸障害も改善した。すっかり良くなった現在も、サナモアは手放せずに治療を続けているとのことで大変喜ばれている。

(TEL078-333-1356)

問を受けた。

療法経過 当初は詳細が分からないので、治療は、AAカーボンで後頭部と足裏を30分ずつ照射すること。別に腰痛もあるとのことなので、患部にはBCカー

サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持てませんので呉々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

株東京光線療法研究所

ボンで30分以上照射するよう指示した。その二週間後に、実際に来所されたので詳しく問診を行ったところ、約半年前に転んで腕や腰を痛めて、それ以来、頭痛を認めるとともに、不眠症に陥っているとのことであった。おそらく、転倒した際に、頸椎を痛め、軽いむちうち症をきたし、頭痛と不眠を認めているのではないかと考え、BCカーボンで後頭部(頸椎)を40分、集光

器を使用して、BBカーボンで頭頂部、左右側頭部を30分、BCカーボンで腰部、背部、膝を30分、BDカーボンで腹部を20分照射してその日の治療を終了した。気分も爽快となり帰宅したが、一か月後に電話での報告を受け、自宅で同様に継続治療したところ、すっかり熟睡できるようになり、食欲もでてきたとのことであった。

(TEL092-581-2039 五八一二〇三九 五七二一五七三)

治験例報告

サナモアで痛風発作の

激痛が消失

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

症例 36歳 男性

症状 突然に右足関節、膝関節が腫れて激痛を認めたため、病院で検査を受けたところ痛風発作による急性の関節炎を起しているとの説明を受け、そこでの治療が開始された。しかしながら、思うように改善せず、痛みが続いていたため、サナモアでの治療を母親に勧められて来所した。

療法経過 治療にはA Bカーボンを使用し、四台の治療器を用いた。最初は側臥位にて、膝関節を上下からはさむように、膝頭と膝下を二台で照射するとともに、腰部と臀部を30分照射。その後、腹部、膝裏、足関節、足裏を同時に10分照射した。次

に、仰臥位として、左腰部、右膝内側、左膝外側を15分照射し

てから、右腰部、右膝外側、左膝内側を15分照射して初日の治療は終了した。二度目の治療に來所した際には、かなり痛みは軽くなっており、以後は自宅での治療を行ったが、数日後には、嘘のように痛みが消失したと喜びの報告を受けた。

(TEL044-732-5067)

治験例報告

外傷による脳脊髄液減少症に

対するサナモアの効果

武蔵野市 カワグチ光線整体療法院

川口 一憲氏報告

症例 41歳 女性

症状 約五年前の交通事故で背中を強打した。二年前から頭痛が慢性化したため、病院を受診した際、外傷による脳脊髄液減少症と診断された。何らかの衝撃で脳と脊髄を包む硬膜の一部が破れ、脳脊髄液が漏れる病気で、そこでは、仰臥位の安静状態で四か月の入院を告げられた

が、現在の生活状況から長期の入院は困難と悩むなか、サナモア光線療法を知り来院された。

療法経過 治療は、A Bカーボンを使用し、仰臥位として後頭下方部の左右を各20分照射後、側臥位として、後頸部を20分照射(BD)。次に全身照射を40分施行した。腹部(BD)、背部(BD)、膝(AB)、足裏(AB)。

治療を重ねるたびに、頭痛は軽減され、眼精疲労による症状も著明に改善した。迷わずに治療器を購入された後、在宅治療を開始するとともに、一か月に二回程度、当院での治療を行い、現在のところ良好に経過している。

〈参考〉

脳脊髄液減少症は、交通事故や転倒により、脳脊髄液が漏れ

て、頭や首の痛み、視力障害、めまいなどの様々な症状を引き起こす病態として、数年前から提唱されています。一部の病院での専門的な治療としては、自分の血液を硬膜外腔に注入するブラッドパッチ治療が行われています。(宇都宮正範)

(カワグチ光線整体療法院)
TEL03-3333-990

全国動光線治療器
はつらつさんと
ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてきまし

た。この点を改良したのが全自動光線治療器はつらつさんで、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、時間に合わせてジョイントできるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

なおはつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧ください。

サナモア光線療法 体験記

自分の健康は

サナモア頼みです

福岡県 宮川 スミ子様

約三年前の朝、突然右目がごろごろして、ちょうどゴミでも入っているような異物感を自覚したため、洗浄したり目薬をさしたりしましたが良くなりませんでした。夕方から目が痒みだしたので、その夜、サナモアをABカーボンで四時間くらいかけました。翌朝には痒みがなくなりましたが、テレビを見ると右目は画面が真っ白くなりよく

見えませんでしたので、医者にはかからず、サナモアで治そうと思い、毎日、三時間くらいかけましたら、二日目から少しずつ見えるようになり、一週間での視力に戻りました。その後も、毎日朝と晩の二回、サナモアをかけていたら、二週間たった頃には、以前よりよく見えるようになりました。

その他、足腰など、痛いところにはサナモアをあてており、八十三歳の今でも、自転車にどんどん乗っています。自分の体はサナモア光線でもっており、自分の健康維持には、サナモアが頼みと思っています。子供たちもサナモアはよく効くと言って重宝に使っております。ありがとうございます。

サナモアをかけながら

ゴルフを楽しんでいます

船橋市 目黒 信子様

私は五十二歳の時に子宮がんを患いまして、あと一歩のところで命を拾いました。手術の後、約四年間、抗癌剤を飲み続けましたが、そのせいか夏でも体全体の冷えを感じて、よく風邪をひきました。そんな時に、たまたま近所にサナモア光線療法のことをよく知ってらっしゃる方がいて、その方の勧め先も目黒でしたので、早速、治療器を購入して頂きました。あれから二十年以上はたっていると思いますが、サナモアをかけながら、仕事を続け、今でもゴルフを楽しんでおります。

サナモア体験記募集

サナモアの効果は体験しないと信じられないところがありますが、実際に効果を体験した体験記ほど説得力のあるものではありません。ついでに体験記をお送りくだされいますよう、お願いいたします。

なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。

サナモア



Sanamo

サナモア光線協会

趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、一、季刊紙、「健康と光線」の発行、二、サナモア光線治療師の募集と育成の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL (03) 三七九三―五二八―
三七二―五三二―

(本紙の無断転用を禁止します。)